算数科学習指導案

指導者　折重　諒太
小出　裕義
小林　あずさ
岡田　妙美

１　日　時　令和２年　９月　10 日（木）　第６校時（14：10～14：55）
２　学　年　第６学年　３組　男子 13 人　女子 16 人　計 29 人
３　単　元　割合の表し方を調べよう　比
４　単元について

単元について

本単元は，学習指導要領「Ｃ　変化と関係」（２）比「二つの数量の関係に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。」ア「比の意味や表し方を理解し，数量の関係を比で表したり，等しい比をつくったりすること。」イ「日常の事象における数量の関係に着目し，図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し，それを日常生活に生かすこと。」を受けて設定されたものである。

児童は，第５学年までに，ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることや百分率について学習してきている。これらを受けて，比の意味や表し方を理解するとともに，図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考え，それを日常生活に生かす力を更に伸ばすことが主なねらいである。

児童の実態

①レディネステストの結果

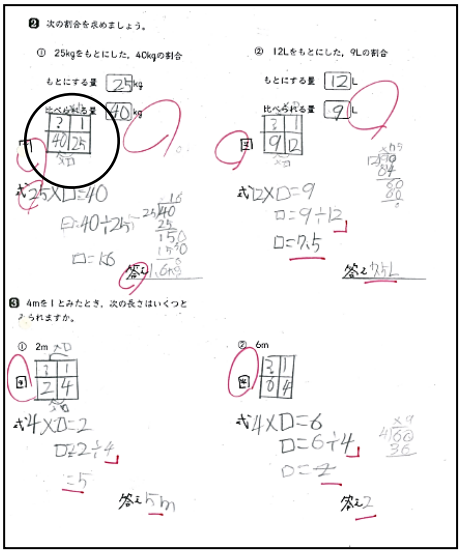
項目	正答者（人）	誤答の様子
基準量と比較量を明らかにする	28／28	なし
割合を計算で正しく求める	23／28	立式が逆になっている。除法の計算ができない。割合に単位をつけている。
比較量を計算で正しく求める	23／28	立式が逆になっている。除法の計算ができない。比較量だが，割合（〇倍）として表している。

②対象児童の実態と要因

対象児童のレディネスの結果は右の通りである。

本学級では前学年「単位量あたりの大きさ」「割合」学習時に，「４マス関係図（レディス結果の〇の部分）」を利用して基準量と比較量を明らかにし，答えを求める学習を行っている。本児童も「４マス関係図」を利用して基準量や比較量を明らかにし，立式することはできた。ただし，除法に課題があるため，正しく計算することに課題がある。

また，対象児童は学習事項の定着までに多くの時間がかかる。また，学習した内容の保持に困難さが見られる。現在，授業や家庭学習において，同一内容のプリント学習に複数回取り組み，考え方や計算の定着に取り組んでいる最中である。



指導にあたって

指導に当たっては以下の３点について留意する。
①選択肢を提示し，選んだ理由を説明させる学習の場を設定することで，どの児童も学習に参加し，比の概念について話し合いながら学習できるようにする。
②図を丸で囲む，図同士や図と数字を矢印でつなぐ，キーワードを板書するなどの視覚化を図ることで，児童が着目するべきところを明確にする。
③ＴＴ授業を活用し，Ｔ２が一緒にワークシートに書き込みをしたり，個別に説明をしたりすることで，対象児童への学習支援を充実させる。新しい概念の学習に対しても安心して取り組むことができるようにする。

５　単元の目標

知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
比の意味や表し方，比の相等の意味を理解し，２つの数量の関係を調べて比で表したり，等しい比をつくったりすることができる。	日常の事象における数量の関係に着目し，比を用いた関係の比べ方を既習の割合と関連づけて統合的にとらえ，割合の適用場面で考え方を工夫することができる。	日常の事象について，目的に応じて比でとらえたことや数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとすることができる。

６　単元の指導計画と評価規準　（全９時間）

次	時	学習内容	知・技	思・判・表	態度	評価規準	評価方法
一	1	数量の関係に着目し，比の意味と表し方を理解する。	◎		○	数量の関係に着目し，比の意味を理解することができる。 数量の関係に着目して，2つの割合について考えようとしている。	発言 ノート
	2	既習の割合との関係に着目し，比の値や等しい比の意味を理解する。		○		既習の割合と比を統合的にとらえ，比の値の意味を考え，説明している。	発言 ノート
	3	等しい比の関係に着目し，等しい比のつくり方を考える。	○			比の性質を理解し，比の性質を用いて，等しい比をつくることができる。	発言 ノート
	4	等しい比の性質や比の値に着目し，整数で表された比を簡単にする方法を考える。	○			比の性質を用いて，比を簡単にすることができる。	発言 ノート
	5	等しい比の性質や数の見方に着目し，小数や分数で表された比を簡単にする方法を考える。	○			比の性質を用いて，小数や分数で表された比を簡単にすることができる。	発言 ノート
	6	比の性質に着目し，比と前項（後項）の値から後項（前項）の値を求める方法を考える。		○		比の一方の値を求める方法を，比の性質や図を用いて考え，説明している。	発言 ノート
	7	比の性質に着目し，全体の量を比例配分する方法を考える。			○	比を図に表すよさに気づき，問題解決に用いようとしている。	発言 ノート
	8	学習内容の習熟・定着を図る。	○	○		基本的な問題を解決することができる。	ノート
二	9	単元末テストを行う。				比の意味を理解し，比を用いた関係の比べ方を身に付けることができる。	